

ウクライナ避難民支援の調べ

伊那 平澤さんがピアノノ公演

伊那市在住のピアニスト、平澤真希さんによるウクライナ避難民を支援するピアノ公演が27日、伊那市のニシザワいなっせホールであった。ウクライナの隣国・ポーランドを拠点に長年活動し、戦禍に揺れるウクライナに思いをめぐらせてきた平澤さん。平和の祈りを込めた美しい音色を聴衆に届け、支援を求めた。(寺田英祥)



ウクライナ避難民を思いやりながらピアノ演奏する平澤さん

(寺田英祥)

主催は伊那市。NPO法人クラシックワールドが企画し、運営した。利益は、ウクライナ避難民を500万人以上受け入れているとされるポーランドに寄付する。平澤さんは1993年から16年間、ポーランドで暮らし、世界各地で演奏活動を行ってきた。公演は2部構成で、約15曲を披露した。1部では、いずれもポーランド出身のシヨパンの「ノクターン遺作」、シマノフスキの「練習曲作品4-3」などを演奏。曲の合間に、ポーランドやウクライナでのエピソードを紹介した。ウクライナのテレビで地元オーケストラと共演した経験を語り、「現地の音楽教育の水準は高くオーケストラの演奏に感動した。今はないのかと思うと言葉にならない」と口

をつぐんだ。平和への思いを乗せた調べなどを、時にしつとりと、時に情熱的に奏でた。演奏を聴いた70代女性は、「少しでも役に立てればと来

場した。早く平和な世界になつてほしい」と祈った。平澤さんは「聴衆の皆さんの中で他者への愛や平和への思いが強まり、その思いが世界各地に広がっていけば」と期待した。

会場には募金箱を設置。同NPOによると、5万7232円が寄せられたという。公演の利益20万円とともに、ポーランドに寄付する予定だ。